

歴史の小径 散策ルート



距離 約5.5km
徒歩 約4時間コース

刈谷市

歴史の小径

れきしのこみち

高津波・小山編



刈谷市歴史博物館
KARIYA city Museum of History

〒448-0838 刈谷市逢妻町 4-25-1 TEL: 0566-63-6100

©医王寺

① 逢妻駅 【あいづまえき】

昭和63年(1988)3月13日に、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)が新設した刈谷―大府間の駅。開業時には、入場券やカード入れなどの記念品が作成された。

② 医王寺 【いおうじ】

慶長年間、^{りょうごん}楞嚴寺11世能山祖芸が開基。刈谷城主^{ただしげ}水野忠重の頃に、網にかかった薬師如来像を御堂に安置したのが始まりとされる。乳薬師と呼ばれ、江戸時代には雨乞祈願もされるなど信仰を集めた。

③ 常夜燈 【じょうやとう】

明治3年(1870)建立。当時、付近まで^{ころもがうら}衣ヶ浦が入り込み船の出入りがあったとされ、碑には岡崎の石工の名や若衆45人の名が刻まれている。元禄14年(1701)の三河国絵図には、高津波より大府までの距離が記され、渡し船の往来があったことがうかがえる。

④ 金勝寺 【こんしょうじ】

文明16年(1484)慶宗が道場として開いたのがはじまりとされる。寺宝の「^{ほうべんほんしんそうずう}方便法身尊像」の裏書は蓮如上人自筆と伝えられ、刈谷市指定文化財になっている。また、この裏書に“高津波道場願主釋慶宗”とあり、高津波という地名が記録に残る最初のものでされている。

⑤ 市杵島神社 【いちきしまじんじゃ】

市杵島姫神と金刀比羅神が祀られている。この2神は、仁孝天皇在位の頃(1817～46)に改めて氏神として祀られている。また明治42年(1909)に金刀比羅社が合祀された。

⑥ 中手山神明社 【なかくてやましんめいしゃ】

創立は天文元年(1532)、磯村与左衛門によるとされる。^{おおひるめのむちのみこと}大日靈貴尊(天照大神の別名)が祀られている。境内には末社として、稲荷社と秋葉社がある。

⑦ 中手山貝塚 【なかくてやまかいづか】

中手山神明社の境内地を中心に広がっている縄文時代晩期の貝塚。

遺物は元刈谷式土器のほか、^{せきぞく}石鏃・^{せきふ}石斧などの石器類、^{やはず}矢筈などの骨角器や貝輪、シカ・イノシシなどの獣骨、ハイガイ・アカニシ・カキなどの貝類が出土している。

⑧ 敬専寺 【きょうせんじ】

真宗大谷派の寺。もとは天台宗であったが、開基・乗慶が蓮如上人を信仰したため、浄土真宗に改宗した。本尊の阿弥陀如来は、徳川家康の次子・^{ゆうき}結城秀康の従兄弟である永見志摩守吉次の奉納によるもの。愛知県指定文化財である「^{つなごてんじんざぞう}綱座天神座像」を所蔵している。

⑨ 天子神社 【あまこじんじゃ】

天文21年(1552)、伊勢国に住む小山太郎・加藤藤麿などが来往して、正殿を建立したとされる。以来、当地の氏神として^{すくなひこなのみこと}少彦名命を崇め、天子大明神とした。

⑩ 天子神社貝塚 【あまこじんじゃかいづか】

天子神社境内を中心に広がる縄文時代後期から晩期の貝塚である。

遺物は、縄文土器・石器・骨角器・貝製品などのほか貝類・獣骨などが出土している。昭和42年(1967)に愛知県指定史跡となった。

⑪ 薬師堂 【やくしどう】

薬師如来を祀る御堂。昔ひとりの修験者が薬師如来を背負って旅をしていた。この地に立ち寄り、一休みしたとき、薬師如来を納めた箱が持ち上がらないほど重くなったため、修験者はここに御堂を建て、薬師如来を祀ったとされる。

⑫ 牛石 【うしいし】

頭と胴とされる2つの石。修験者がこの地で一休みしたとき、薬師如来の箱が置かれた石が牛の姿になって歩きまわった。村人がこれを打ちすすめると石に戻ったという。

⑬ ハッ崎貝塚 【はっさきかいづか】

刈谷で最も古い縄文時代早期後半の貝塚。昭和30～31年(1955～56)と同56年に発掘調査が行われた。縄文早期から古墳・奈良・平安時代にわたる土器や石器、骨角器などが出土している。昭和59年に愛知県指定史跡となった。



ハッ崎貝塚出土品

⑭ 山の神遺跡 【やまのかみいせき】

縄文時代中期の遺跡。昭和29年(1954)、刈谷東中学校の校庭で発見された。検出された1軒の竪穴住居跡は、中央に炉跡をもち、1辺3mあまりの隅丸方形で、^{すみまるほうけい}縄文土器や打製石斧、無茎石鏃、石錘などが出土している。昭和42年に愛知県指定史跡となった。